

生後1週間の子豚に乳を飲ませる来場者＝豊橋市で



トコトン豚祭り 子豚授乳体験も

豊橋で初開催

三河地方の養豚農家や食肉業者らで作る「三河トコ豚極め隊」が24日、地元産豚肉に親しみを持ってもらうと「三河トコトン豚祭り」を豊橋市松葉町

3のことも未来館で初めて開いた。

生後1週間の子豚への授乳体験や、飼育から肉になるまでのビデオ上映、三河産豚を使っている11飲食店が料理の提供と、触れ合いや学び、味わいを体験できるようにした。

2回行った豚肉の解体教室には約80人が参加した。食肉業者が作業を説明しながら、1頭の半身をロース、ヒレ、バラなど6部位に切り分けた。参加者は「ちょっとキモイ」などと言いつつ、感心しながら作業に見入っていた。解体した肉を炭

火で焼いて試食し、「おいしい」と舌鼓を打っていた同市の小学4年、山本青空さん(10)は「解体は迫力があって、もっと簡単なのかと思ったら骨を取るところなどが難しかった」と語った。

極め隊の鈴木美仁隊長(47)は「豚を丸ごと知ってもらい、おいしく食べてほしい」と話していた。【清藤天】

毎日新聞
2013年3月25日(月)